

## 枚方市立山田中学校 第2学年 数学科シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

### ○指導の重点目標

- ・ 数学的技能の向上に努める
- ・ グループ学習のルールを守り、学びを深める。

### ○研究課題

- ・ グループを活用した学習活動の推進
- ・ 学習内容の習熟の程度に応じた学習課題

### ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 …… 授業の始まる前に自分の席に着席し、授業の準備をしておく。

自分の考えを持ちながら集中して授業を聞こう。

授業での発問には積極的に挙手し、発表しよう。

ファイル・ワーク・宿題等の提出物は期限を守って提出しよう。

家庭 …… 授業で習ったところはノートやワーク・教科書等で確認し、復習しよう。

問題の答え合わせは、丸付けだけでなく、なぜ違うのかを考え理解し、もう1度解いてみよう。

授業でやった問題と同じような問題をワークや教科書などで復習しよう。

テストやワークで間違えた問題を復習しておこう。

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 数学への関心・意欲・態度	○授業中の取り組み      ○提出物
② 数学的な見方や考え方	○定期テスト              ○レポート課題
③ 数学的な技能	○小テスト・定期テスト
④ 数量や図形などについての知識・理解	○小テスト・定期テスト

## ○学習内容と評価

【東京書籍 新しい数学】

	単元名	学習内容	時間数	評価に当たって		
				評価観点	評価の場面・方法	
1 学 期	7章 資料の分析と活用	資料の分析、資料の活用 近似値と有効数字	1	①	○授業中の 取り組み ○提出物 ○定期テスト ○レポート課題 ○小テスト	
	1章 式の計算	1節 式の計算	9	②		
		2節 文字式の利用	10	③		
	2章 連立方程式	1節 連立方程式と その解き方	8	④		
2節 連立方程式の利用		7				
2 学 期	3章 1次関数	1節 1次関数	10	①	○授業中の 取り組み ○提出物 ○定期テスト ○レポート課題 ○小テスト	
		2節 1次関数と方程式	4			
		3節 1次関数の利用	7	②		
	4章 平行と合同	1節 説明のしくみ	3	③		
		2節 平行線と角	6			
		3節 合同な図形	8	④		
3 学 期	5章 三角形と四角形	1節 三角形	9	①	○授業中の 取り組み ○提出物 ○定期テスト ○レポート課題 ○小テスト	
		2節 平行四辺形	14	②		
	6章 確率	1節 確率		10		③
						④